

あなたのまちの“おいしい”を見つけよう！

とことこオーガニック マルシェ

開催報告

主催：所沢市、株式会社西武リアルティソリューションズ



1 開催概要

日時：令和7年1月25日 午後1時～午後3時

会場：シティタワー所沢クラッシィ広場（東住吉11-1）

主催：所沢市、株式会社西武リアルティソリューションズ

来場者：約400名



2 開催目的

所沢市では地域ぐるみで有機農業の取り組みを進める「オーガニックビレッジ」を目指し、生産、加工・流通、消費の各分野において試行的な取り組みを行っています。今回は消費分野の取り組みとして、地元で有機農業に取り組む生産者と消費者をつなぐことを目指し、オーガニックをテーマにしたマルシェを初開催しました。

なお、当イベントは、所沢市及び株式会社西武リアルティソリューションズの共同プロジェクトとして開催し、西武リアルティソリューションズは所沢エリアのタウンマネジメントの行動指針である「人×?(カケルハテナ)で所沢のたのしいを生き続ける」ための施策の一つとしても位置づけています。



3 マルシェブース

市内で有機農業に取り組む生産者らが、旬の農産物を販売しました。参加した生産者は、所沢市で試験導入を進めるオーガニック給食の取り組みにも協力していることから、学校給食のレシピ配布も行いました。

生産者にとっては、消費者と直接ふれあうことのできる貴重な機会となり、来場者にとっては、生産者のこだわりや、おすすめの調理法などを直接聞くことで、有機栽培された農産物の魅力に触れる場となりました。

① 野菜販売コーナー

多品目栽培に取り組む生産者が多い有機農業ならではのめずらしい品種や、採れたての農産物に多くの方が足を止めてくださりました。また、試行的な取り組みとして、とことこオーガニックのロゴマークを使ったPRも行いました。



② 詰め放題コーナー

規格外となった根菜類の詰め放題を体験できるコーナーも設けました。普段は目にすることが少ない、変わった形の野菜に子どもたちも楽しんで体験していました。



4 オーガニック給食試食ブース

所沢市では、令和4年度から学校給食に有機栽培された農産物を試験導入しています。令和6年度は11月～2月にかけて、全小・中学校で人参、大根などを試行的に活用しています。

今回はイベント前日（1月24日）の学校給食で提供された「とことこ豚汁」を再現して提供しました。300名以上の方に試食いただき、農産物のおいしさを感じていただける機会となりました。



5 コンサートブース（まちなかコンサート mini January 2025）

「音楽のあるまちづくり（音まち）」の一環として、気軽な音楽鑑賞の場を提供する「まちなかコンサート」。今回は初の試みとして、一般公募で選ばれた3名のアーティストが出演しました。

野菜を買った後に足を止めてくださる方や、豚汁を試食しながら耳を傾けてくださる方など、来場者は思い思いの場所で音楽を楽しんでいました。最後はスペシャルゲストのDJトコロんも加わり、来場者も盛り上がっていました。



● 出演アーティスト（敬称略）

① 安田 亮



② ヤマヒラン



③ 小林 唯



④DJトコロん



6 アンケートブース（コミュニケーションキャラバン）

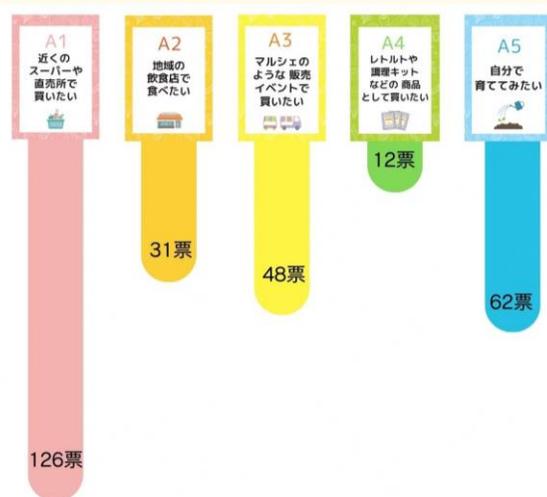
株式会社西武リアルティソリューションズでは、地域の皆さまと一緒に所沢エリアに対する想いや今後進めていくまちづくりに関するアイデア等について対話する「コミュニケーションキャラバン」を開催しています。

今回は、「あなたの暮らしにどうやって有機野菜を取り入れたいですか？」をテーマとして、豚汁を試食いただいた後のカップを使い、投票形式で回答いただきました。



● 投票結果

投票総数は279票。暮らしの中に有機野菜を浸透させるためには、マルシェイベントの継続的な実施による地元農家の出店拡大を目指す他、有機野菜の栽培に関する体験や講習の実施が求められていることが分かりました。



7 有機農業PR展示

今回の開催目的の一つでもある、オーガニックビレッジを目指した消費者向けのPRとして、有機農業の特徴や所沢市での取り組みを紹介するパネル展示を行いました。

また、飲食スペースでは生産者や畑の様子を動画で紹介したほか、生産者マップなども配布することで、地元で有機農業に取り組む生産者に興味を持っていただける場となりました。



参考 とことこオーガニックとは？

所沢市内において有機JAS認証を受けている農産物・加工食品もしくは、環境保全型農業直接支払交付金の有機農業の取組の対象となっている所沢市内の農地で収穫された農産物のことです。

【環境保全型農業直接支払交付金】

化学的に合成された農薬や肥料の使用を5割以上低減する取組や、有機農業に取り組む農業者が活用できる交付金です。この交付金における有機農業の取組の要件は、「国際水準の有機農業」をもとにしています。

● 有機農産物との違いは？

有機農産物は「有機農産物の日本農林規格（JAS）」の基準に従って生産されたもので、国際的な有機農業の基準に適合した生産が行われていることを第三者機関が検査し、認証された事業者は「有機JASマーク」を使用して、「有機農産物」「有機〇〇」「オーガニック〇〇」等と表示することができます。よって、認証を受けていない農産物はこれらの表示を行うことはできないとされています。

しかしながら、この認証を取得・継続するための費用や、毎年度の更新手続などは、農業者の負担となっている現状を受け、所沢市では「とことこオーガニック」という市独自の表記を試行的に行うことにより、有機農業の取組拡大を支援しています。